

群馬県立県民健康科学大学 看護学部看護学科  
2023年度 学校推薦型選抜 出題意図

【和文】

本学入学者選抜の基本方針に則り、小論文試験により、基礎学力、論理的な思考力・判断力・表現力、自ら見出した課題や問題に取り組む力を評価する。

問1は、文章の意味の正確な読み取りと、適切な記述を求める。これを通し、基礎学力や論理的な思考力・表現力を確認する。

問2は、「私たちのことをまるで知らない遠い国の人たちのことであっても、知ったことに対して責任が生まれ、何らかの働きかけが求められる」という筆者の意図を理解し、「知ったこと」および「それにより生まれる責任を負うこと」について、関連する例を用いた記述を求める。特に、「知ったこと」は、筆者が「遠い国の人たち」と表現しているように、見知らぬ人たちの出来事まで視野を広げる必要がある。また、「それにより生まれる責任を負うこと」は、そこに潜む問題や課題に対し、どのような働きかけをするのか、自己の考えを整理し、表現する必要がある。これを通し、論理的な思考力・判断力・表現力、自ら見出した課題や問題に取り組む力を確認する。

【英文】

看護職を目指す学生の論理的思考力・判断力・表現力を評価する目的で、2021年9月7日のNEW YORK POST 電子版に掲載された、“‘I was defrosted’ : Siblings born 18 months apart discover they’ re twins” という記事を選択した。問1では文章の適切な読解力を、問2では読解力と表現力を、問3では自己の意見を柔軟な発想で論理的に表現する力を、それぞれ判断することを意図して出題している。